



# 在京関中一高会 会報



## 次の還暦に向けて

在京関中一高会会長 伊藤 東平 (昭和37-61回卒)



在京関中一高会会員の皆様、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は母校関係各位のお力添えと、会員皆様のご協力のもと、本会結成60周年の記念すべき年の総会を無事かつ盛大に催すことができました。まずは、皆様に御礼を申し上げます。そして今年、本会は、次の60年(大還暦)に向けての新たなスタートの年を迎えました。

その本会結成61年目の総会を、母校副校長鈴木勝博先生、宮本次郎先生、本部同窓会会長佐藤悦郎様、副会長阿部興紀様のご出席を

頂き、多くの会員の皆様と共に催すはこびとなりました。

これまでの60年、本会は多くの先輩の皆様のご努力と母校のご支援のもと、会員2300有余名を擁する同窓会組織として発展してまいりました。私達現会員は本会を同窓生相互の親睦の場、自己研鑽の場として、陰に日向にその恩恵を享受してまいりました。

私達はそれを次の世代に引き継ぎ、郷里を後に、それぞれの夢と共に勇躍、首都圏へと羽ばたいてくる後輩の皆さんの「止まり木」とも「飛躍への踏み台」ともなり得る場としての意義を次の60年に向けて、より確かなものにして行きたいと考えております。この理念の具現に向けて、若い会員の皆さんの積極的な参加を誘い、世代を超えた交流の場を提供して行きたいと考えております。

若い会員の皆さん、臆することなく、総会・懇親会に参加して、諸先輩の息吹に接し、実社会の、そして、人生の「生」を肌で吸収して下さい。

郷里からは、母校の文武に亘る活躍のニュースが老いた耳に心地良く届きます、今年の特別講演は、鈴木副校長先生にこの活躍の要因とも思われる岩手県立校唯一の「中高一貫校」についてお話を頂きます。皆様、ご期待ください。

「次の還暦(大還暦)」に向けて「創立118周年の母校」、「母校と共にある本会」、「本会と共にある会員の皆様」の益々の活躍とご健勝をご祈念申し上げます。

## ごあいさつ

一関一高 校長 土川 敦



在京関中一高会の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。日頃から一関第一高等学校に対しまして、厚いご支援をいただいていることに感謝申し上げます。坂本晋校長の後任として着任した土川敦と申します。明治31年創立の一関尋常中学校の歴史と伝統を受け継ぐ一関第一高等学校に勤務することを光栄に思うとともに、その職責を全うするよう努めて参りたいと決意しております。

釣山を満開の桜が覆い、一関は春を迎えました。磐井川河畔の桜は、堤防の改修工事のために伐採され校舎の裏側も寂しくなりましたが、昨年植えられた心細げな苗木が、これからの関高生とともに成長して、やがてたくましい大木になるころには、再び新入生歓迎会を未来の生徒たちが、花の下で行うことでしょう。それまでしばらくは、校門脇にわずかに残っている古木に見守ってもらいます。

皆様が東京を中心に、各界でご活躍なさっていることは、在校生にとって誇りであり、大きな励みとなっております。前校長の陣頭指揮の下、この3月には、併設型中高一貫校として2度目の卒業生を送り出しました。前年度の卒業生の結果をさらに発展させようと、まさに「高志」を抱き、「温故知新」の智を磨いて、「切磋琢磨」の徳を積み、

## 東京同窓会 61年目の幕開け

一関一高同窓会会長 佐藤 悦郎 (昭和21-45回卒)



東京支部同窓会の皆様、御壮健の御事と御慶び申し上げます。

昨年の60周年記念式典は、大変素晴らしい内容で同窓生二氏の対談も画期的・異色の顔合わせ、二人のお話しは、時間があればもう少し拝聴したかったひとときでありました。60年の歴史を刻み込んだ東京支部らしい充実の記念式でした。次の新たな年代に伊藤会長さんを旗頭として誠にいいスタートを切ったものと強く感じた次第です。まだ出席されることがないという会員の方も、この新たな門

出を機会には是非今度の東京同窓会にお出かけしてみませんか。

さて、時の一年は早いもの、今年も母校では「別れとめぐり合い」の季節がやって参りました。3月1日の卒業式は236名。現役東大合格4名。東北大21名。岩手大31名、などすべての受験校に高率合格の金字塔を打ち上げて巣立っていきました。そして、卒業生全員、同窓会正会員としてお迎えし、歓迎申し上げました。

もう一つの分かれと出会い「教職員の異動」は、坂本校長先生の定年退職の後任に盛岡二高の土川敦校長先生。泉副校長先生は軽米高校の校長先生に昇格して転勤でした。総体として附属中併せて昨年に近い23名の方々の転勤・退任でした。23日にお別れの送別会が盛大に開催され一高在職中の御労苦に謝意を表した次第です。

4月7日は入学式です。附属中、定時制合同の入学式は保護者の皆様の大勢の御出席も頂き、体育館は満員の状況です。その日の夜は、転入の教職員の方々歓迎会がにぎやかに開催され、今後の御健闘を期待申し上げます。

此の度は、東京支部の副会長・兼幹事長の清野翼様が惜しまれつつも御退任されました。清野さんは同窓会に深く精通され、高い指導力をもって同窓会運営に永年御尽力頂きました。その功績は計り知れないものがあり、心から深甚なる謝意をもうしあげる次第であります。

同窓会関連の、母校の一端を報告申し上げ今後共高一層の同窓会運営に御高配を賜りますようお願い申し上げます。

「不屈不撓」の勇を練りながら、「遂げずばやまじ」の精神を持ち続けて、東大の4名をはじめ、一橋大・東京外語大各1名、東北大21名(医学部医学科3名)等の結果を残し、東北の雄一関一高の名を高めてくれました。

また、昨年度の部活動においては、競技歌留多部が全国高総文祭へ、陸上競技部、水泳部が東北大会を勝ち抜いてインターハイに出場しました。さらに、ソフトボール部は、2年連続で全国選抜大会に歩を進めています。在校生は、限られた時間の中で集中して、「修文練武」を実践しようと努めています。

4月早々、生徒たちと顔合わせをする前に、硬式野球部のグラウンドに行った時のことです。私は不審者と思われても仕方がない状況下、移動のために駆けていた足を止め、正対して丁寧に挨拶する部員たちがいました。硬式野球部はここ数年、武運に恵まれていませんが、勝利の女神はほほえむタイミングを見計らっているように思えます。今年、関中野球部甲子園初出場から百周年と伺い、先輩方の硬式野球部への大きな期待を感じています。春の関東合宿では、早稲田実業高校と練習試合を行ったと聞きました。諸先輩のご支援があればこそこのことと感謝申し上げます。部員達には、感謝の気持ちを持ち続けて練習し、試合に臨むようにと伝えていきます。

附属中の入学生は8期生となりました。新入生が、関高・附中の環境の中で日々成長する様子を目の当たりにして、創立以来脈々と受け継がれてきた関中一高の栄えある歴史と伝統のすばらしさを感じます。

最後に、附中と各地域の中学校から集まった高校生が関高での3年間でよい人生の土台を築けるよう、教職員一同、力を合わせて指導して参りますので、今後とも一層のご指導とご支援をお願いいたします。

# 平成27年度在京関中一高会 総会・講演会

## 第1部 総会



伊藤会長挨拶

佐藤同窓会長挨拶

母校坂本校長挨拶

## 第2部 対談

「一関一高時代を思い出し 70代の人生を二人で語ろう」

対談：島地勝彦氏(59回卒)・菅原正二氏(60回卒)



## 第3部 懇親会

平成27年6月21日 ホテルベルクラシック東京





## 同期会ニュース

**二九会 (53回・昭29)**：還暦を機に「われら質實剛健」を掲げて、二九会同期の文集を作成す。これが殊の外好評なる故に古希を迎えて続「われら質實剛健」を上梓した。その間、「われら質實剛健」写真集までも編纂。多くの仲間が60年の定年退職を迎えて、その人生の一齣を語った文集だけに、偶に読み返すとニヤリとする懐かしがあり、仲間との一関一高時代がセピア色に滲んだ思い出が甦る。在京二九会も八十の齢を迎えて集まりも鈍くなっているが、言葉だけは皆意気軒昂と威勢を張る。これぞわれら質實剛健の心意気と自負するところである。(佐々木久)

**東京三四会(58回・昭34)**：2月14日に上野の森美術館で開催中の展覧会に清野が出品。同期生14名が集まり、ミニ東京三四会。前岡、菊地武志の幹事役で上野公園で一盃。清野は病氣療養中で顔出しだけで帰宅。一関からも2名出席。小野寺美美子氏はその足で台湾へ地震見舞い。阿里山で遊んで帰国。今年は秋に一関で喜寿祝い計画。(清野翼)

**(61回・昭37)**：2月9日(火) 昭和37年卒の有志が高岡さんのお

声掛けにより築地に集まり移転前の築地を楽しんだ

**(67回・昭43)**：7月24日、海野氏の呼びかけで杉並区下井草にある蕎麦打ち道場に10人が集まり蕎麦打ちと懇親会を開催。上京中の同窓会盛岡支部の山崎支部長も参加し、和気あいあい蕎麦打ちでは汗を流し、懇親会ではズーズー弁も飛び出し爆笑会。形はともあれ自分で打った蕎麦は本当にうまい。当日の参加者の出身地は一関市、釜石市、奥州市、西磐井郡だが、一関一高で共に学び、部活に明け暮れた思い出が次から次へと話題になり楽しいひと時となった。(千葉幸嗣)

**(72回・昭48)**：我々は、数人の有志で企画して、季節によってプチ同級会を開催している。昨年は4月19日「春の同級会IN町田」を企画。イタリアレストランで会食(飲み会)。二次会はカラオケへ、男性5人、女性3人、計8人。8月29日(土)「夏の同級会IN銀座ライオン」を企画。銀座ライオンで宴会。二次会は銀座ジャズバーへ。参加者は男性13人、女性1人、計14人。12月6日(日)「秋の在京同級会IN高尾山」を企画。高尾山登山と「うかい鳥山」にて忘年会。参加者 男性7人、女性4人、計11人。今年は、4月3日(日)に、埼玉県の大宮公園にて「花見の宴」を開催した。(齋藤憲三)

## 会員トピックス

**菅野照夫 (54回・昭30)**：号雲擘、書道家、墨林書道院 常任理事。第45回墨林綜合書展、会期は平成28年8月2日(火)～8月9日(火)、会場・東京都美術館

**島地勝彦 (59回・昭35)**：伊勢丹新宿店メンズ館8階くサロンド シマジのプロデューサー。コラムニストとして島地勝彦の「遊戯三昧」(現代ビジネス)など。近著は『甘い生活』(講談社+α文庫)。テレビ岩手で、毎月1回放送の「夢トーク」という座談番組が、2月新宿伊勢丹にて収録をされ、放送された。

**本郷孔洋 (63回・昭39)**：辻・本郷税理士法人会長、税理士、公認会計士。本年4月、税理士600名を有する国内有数の税理士法人の理事長から会長に就任。一関にも支部を置き同窓のクライアントもあり。毎年自ら執筆する著書「経営ノート」を今年も3月に「本郷孔洋の経営ノート2016」～常識の真逆はブルーオーシャン～と題し東峰書房から発刊。4月から7月まで東京の学士会館を皮切りに仙台や青森等で出版セミナーを開催中。

**小野正弘 (76回・昭52)**：明治大学文学部教授、日本語学会。三省堂新国語辞典第5版の編集主幹を務めた。オノマトペの分析では第一人者として有名。8月には、「感じる言葉 オノマトペ」を角川学芸出版から発刊。11月21日に舞川小学校創立20周年式典で「舞川のことば みんなのことば」と題して記念講演を行った。

**宇田川 (佐藤恵利) (86回・昭62)**：声楽家(ソプラノ)、藤原歌劇団。総会ではいつも響き渡る歌唱を披露。8月21日から5日間、玉川学園ハンドベルクアリア・オーケストラ部を引率し、

三陸の被災地を含め東北公演を行い地元一関市や中尊寺境内での公演は大好評を得た。セオン杉並、一関文化センター、音楽の友のホール等でリサイタルに出演する傍らボイストレーニング等、後輩の指導にも当たっている。12月29日、一関文化センターで開催された「いちのせき第九演奏会」では一関市民合唱団と共に素晴らしい歌唱力を披露した。

**なかだえり (中田江利) (92回・平5)**：イラストレーター。「大人女子よくばり週末旅手帖」エクスナレッジ・2015年11月日本全国をちょっぴりマニアックな一冊にまとめた旅の本を発売。イラストも情報も超満載の渾身の作!12月26日から1月15日まで新宿伊勢丹で「島地勝彦似顔絵展+ヨーロッパの車と風景展」が開催され同窓生が訪れた。今年も4月に「なかだえり水彩画展17」を千住のアトリエ「奈可多楼」で開催。本年は「石巻展～震災から5年」開催予定会場1：追分温泉：「世界のクラシックカー水彩画展」4月29日～11月30日。会場2：熊谷産業：「石巻の自然水彩画展」5月16日～6月12日。

**鈴木秀和 (104回・平17)**：東京芸大音楽科卒、声楽家(テノール)。一昨年イタリアから帰国後、全国各地のコンサートに精力的に活躍中。2月には帝国ホテルのデイナーショーにも出演。4月30日には一関文化センターで「鈴木秀和スプリング・リサイタル」を開催。

**曾根遼平 (109回・平22)**：東京芸大声学科卒、声楽家(テノール)。一昨年の総会で素晴らし歌唱を披露してくれた期待の新人。2月27日に前沢ふれあいセンターで開催された東京芸大・東北出身者グループ公演の「Canto dabbe第3回ガラコンサート」に出演。今年7月には埼玉県秩父市において演奏会を予定。

## クラブOB会ニュース

恒例の春の関東遠征は3月25日から27日までのスケジュールで下記の日程で行われました。

- 25日 青山学院高(2-9)で敗戦  
多摩大目黒高(6-3)で勝利
- 26日 早稲田実業高(3-17)で敗戦  
新潟高(4-7)で敗戦
- 27日 宇都宮東高 第1戦(8-3)で勝利  
第2戦(18-3)で勝利

以上の3勝3敗だった。

今年は投手が揃っていますので楽しみである。

また、在学時春の東北大会優勝メンバーだった平成21年卒の阿部寿樹君が昨年プロ野球ドラフト会議で中日ドラゴンズに5位指名された。母校野球部では、センバツ出場した時の投手だった木村正太郎君以来二人目のプロ野球選手です。活躍を祈念する。また昨年のチームの4番打者の竹沢君が推薦入学で早稲田大学に合格し及川武宣さん以来58年ぶりで野球部に入部する。

また女子ソフトボール部が2年連続で東北大会優勝し千葉で開催された第34回全国選抜女子ソフトボール大会に出場しました。初戦は鳥取代表の鳥取城北高校との対戦でしたが惜しくも敗退してしま

った。  
在京一関一高硬式野球部OB会幹事長 高橋伸 (80回・昭56)

## 事務局便り

●今年清野翼副会長・幹事長が突然、体調を崩されご退任、引き継ぎもままならぬ中、手探りの事務局の運営でした。

今年の会場をグランドヒル市ヶ谷に致しました。ご不便をおかけするかもしれませんが一人でも多くの方のご参加をお待ち致しております。

会報の編集、発行は海野副幹事長が行い、2500通の総会・懇親会のご案内の発送は従来通り黒澤合同事務所をお借りして有志で行いました。行

き届かない点多々あると思いますがその点はお許し願います。

母校も県内唯一の中高一貫校としてめざましい成果をあげておりますことを誇りに皆様のご協力に感謝し絆を一層強めるよう努めたいと思

います。今後共よろしく願ひ致します。  
●名簿の整理をおこなっております。各学年のまとめ役を決めていただき、下記事務局にご連絡ください。その方に現在のその年次の名簿データをご

連絡いたします。住所変更等がありましたら修正いたします。

事務局：info@ichinoseki-1.com

(幹事長代行 平野 恵子)